

第 36 回研究会

「スイーツなマーケティング論+イスズベーカーリー&ケルンの魅力」

2019 年 11 月 28 日（木）15:30～17:00 甲南大学ネットワークキャンパス東京

講師：株式会社イスズベーカーリー 常務取締役 井筒 大輔 氏

株式会社ケルン 代表取締役 壺井 豪 氏

ファシリテーター：BI 研究所 所長 西村 順二

甲南大学ビジネス・イノベーション研究所・佐賀大学肥前セラミック研究センター 共同研究会「地域創生時代の地域活性化を考える」

2019 年 11 月 22 日（金）15:00～16:40 甲南大学 iCommons3 階 Union（ユニオン）P-2、P-3 ルーム

研究報告 1 「肥前セラミック研究センターの地域における役割・機能」佐賀大学肥前セラミック研究センター長・小坂教授

研究報告 2 「地域産業が抱える課題と地域ブランディング」佐賀大学・山口教授

研究報告 3 「日本における産学連携の課題」甲南大学・シュレスタ教授

Cakes Gallery 彩 井向正夫さんと甲南大学西村教授の「おしゃれでなるほど！スイーツトークショー」

2019 年 11 月 16 日（土）14:30～16:00 甲南大学 iCommons3 階 Union（ユニオン）P-2、P-3 ルーム

講師：Cakes Gallery 彩 井向 正夫 氏

ファシリテーター：BI 研究所 所長 西村 順二

ひがしなだスイーツめぐり記者発表会

2019 年 10 月 11 日（金）15:30～ 甲南大学岡本キャンパス iCommons4 階 TSUTAYA BOOK STORE

ファシリテーター：BI 研究所 所長 西村 順二

第 35 回研究会

「スイーツなマーケティング論+にしまら珈琲体験」

2018 年 11 月 22 日（木）15:30～17:00 甲南大学ネットワークキャンパス東京

講師：セセッション代表・株式会社にしむらコーヒーサービス 代表取締役社長

吉谷 修作 氏ファシリテーター：BI 研究所 所長 西村 順二

第 34 回研究会

「社会科学系大学院生の研究発表会」

2017 年 12 月 9 日（土）10:40～12:15 甲南大学岡本キャンパス 223 教室（2 号館 2 階）

発表テーマ：のれんの資産概念と原価配分方法の整合化に関する研究

発表者：甲南大学社会科学部経営学専攻修士課程 田中 隆之

発表テーマ：「現代のマネジメントを考えるードラッカーと稲盛の所論を中心としてー」

発表者：甲南大学社会科学部経営学専攻修士課程 小曾根 知晃

第 33 回研究会

「グローバル大競争時代における日本企業の経営ー第 4 次産業革命とコアコンピタンスへの戦略対応ー」

2017 年 12 月 1 日（金）14:00～16:30 甲南大学ネットワークキャンパス東京

講師：元・東レ株式会社 副社長 現・株式会社 DeNA 常勤監査役 小泉 慎一 氏

講師：BI 研究所 兼任研究員 杉田 俊明

第 32 回研究会

「スイーツなマーケティング論ー神戸風月堂と小磯良平：神戸エレガンスの本質とはー」

2017 年 11 月 16 日（木）15:30～17:00 甲南大学ネットワークキャンパス東京

講師：株式会社 神戸風月堂社長室執行役員 日崎 隆宏 氏

ファシリテーター：BI 研究所 所長 西村 順二

第 31 回研究会

「グローバル経営とアジア 総合商社からみたグローバルビジネスと人材」

2016 年 12 月 14 日（水）16:20～17:50 甲南大学岡本キャンパス 263 教室（2 号館 2 階）

講師：丸紅株式会社 経済研究所 シニアアドバイザー（前副所長） 猪本 有紀 氏

イントロデューサー：BI 研究所 兼任研究員 杉田 俊明

第 30 回研究会

「スイーツなマーケティング論ーMoncher の新たな試みー」

2016 年 11 月 24 日（木）15:00～17:00 甲南大学ネットワークキャンパス東京

講演Ⅰ：「堂島ロールの Moncher、その後の展開」

講師：株式会社 Moncher 代表取締役社長 金 美花 氏

講演Ⅱ：「万人に好まれるスイーツとは」

講師：BI 研究所 所長 西村 順二

BI グローバルシンポジウム 「アジア・ビジネス連携の今、これから」

2014 年 7 月 11 日（金）13:00～ 甲南大学甲友会館 1 階

13:05～15:00 講演

①躍動するアジア・ビジネス -「グレーター・チャイナ」の役割と日本企業との連携-

(杉田 俊明)

②技術ベースのビジネス・インキュベーション -ハンバット大学インキュベーションセンターの事例-

(Hanbat National Univ. (韓国 国立ハンバット大学) Prof. and Dean Sung-Whan, Park(박성환))

③気候変動と経済的体制の進化 -歴史的考察-

(National United Univ. Prof. and Dean Brian Chi-ang Lin(林 其昂))

④国際的下請け契約下でのビジネス・ネットワークと協業価値

(TungHai Univ. Prof. and Director of EMBA Chang, Kuo-Hsiung(張 國雄))

⑤インドとイノベーション -日印の新たな連携を求めて-

(SHRESTHA Manoj Lal)

15:05～16:00 パネルディスカッション

「これからのアジア・ビジネスの連携について」 コーディネーター 長坂 悦敬

Hanbat National Univ. Prof. Wonil Lee

National United Univ. A.Prof. Chun-Ning Huang

新潟大学 経済学部教授、BI 研究所客員特別研究員 李 健泳

甲南大学 杉田 俊明、岡田 元浩、奥野 明子、西村 順二



第 29 回研究会 「ケニアの経済発展とイノベーションー日本と東部アフリカの関係を考えるー」

講師：Prof. Dr. Bernard Murumbi Sihanya 教授（ナイロビ大学法科大学院）

2016 年 1 月 29 日（金）16:00～17:30 甲南大学第 6 会議室



第 28 回研究会 「社会科学系大学院生の研究発表会」

コーディネーター BI 兼任研究員 廣山 謙介

2015 年 12 月 12 日（土）10:00～11:30 甲南大学 5406 教室

①「チーム・ワーク・エンゲイジメントの先行要因に関する質的研究」

甲南大学社会科学系研究科経営学専攻博士後期課程 多湖 雅博 氏

②「安全衛生活の日常化の必要性についてーK 社を事例としてー」

甲南大学社会科学系研究科経営学専攻修士課程 出川 啓二 氏



第 27 回研究会 「スイーツなマーケティング論ー進化を続ける老舗企業・モロゾフー」

BI 研究所所長 西村 順二

2015 年 11 月 26 日（木）15:30～18:00 甲南大学ネットワークキャンパス東京

①「モロゾフの企業理念とブランディング」

モロゾフ株式会社 代表取締役社長 山口 信二 氏

②「神戸洋菓子産業の略史」

BI 研究所所長 西村 順二



国際交流研究会 「A Foresight on Technology Development and Business Innovation」

講師：台湾国立聯合大学管理学院 陳宇佐 助理教授

2015 年 5 月 12 日（火） 10：50～12：00 甲南大学第 5 会議室



第 26 回研究会 「社会科学系大学院生の研究発表会」

コーディネーター BI 研究所所長 西村 順二

2014 年 12 月 6 日（土） 10:00～11:30 甲南大学 212 教室

①「製造企業のマーケティング・チャネル構築・維持・管理に関する一考察

ー チャネルの内部性と外部性の融合の視点から ー

甲南大学社会科学部経営学専攻修士課程 松井 宏祐 氏

②「KPI 活用による業務プロセス改革に関する研究」

株式会社アットストリーム会長、甲南大学社会科学部経営学専攻博士課程 平山 賢二 氏



第 25 回研究会 「スイーツなマーケティング論 -神戸・老舗洋菓子メーカーの挑戦-

司会 BI 研究所所長 西村 順二

2014 年 10 月 24 日（金） 15:00～18:00 甲南大学ネットワークキャンパス東京

①「デモ私立ッテマス」

株式会社ユーハイム 代表取締役専務 河本 英雄 氏

②「並んでまで買いたいお菓子が誕生する舞台裏 -ブランドの再構築-

BI 研究所所長 西村 順二



・2013年度 BI グローバルシンポジウム 「アジアにおける経済・経営学研究のパースペクティブ」

甲南大学 BI 研究所と国立聯合大学（台湾、苗栗市）管理学院との学術研究交流協定締結を記念し、「アジアにおける経済・経営学研究のパースペクティブ」という統一テーマで、問題意識や研究アプローチを多面的に検討、考察、議論するシンポジウムを下記のように開催しました。



日時 2013年9月21日（土） 13:30～17:20 場所 甲南大学 第1会議室（3号館7階）

13:30～ ご挨拶 甲南大学 学長 杉村 芳美

【1】国立聯合大学(NU)管理学院（台湾）における研究アプローチ

13:35～14:15

“The Chinese Circular Economy Law: The Relationship between Economic Growth and the Recyclable Resource”

Dr. Chi-ang Lin (林其昂), Professor and Dean, Dept. of Finance, NUU College of Management

“The Role of Self-Concept in the Mechanism Linking Proactive Personality to Employee Work Outcomes”

Dr. Pen-Yuan Liao (廖本源), Associate Professor, Dept. of Business Management, NUU College of Management

“Advance Business Innovation through Industrial Technology Foresight Approach”

Dr. Yu-Tso Chen (陳宇佐), Assistant Professor, Dept. of Information Management, NUU College of Management

【2】甲南大学ビジネス・イノベーション研究所における研究アプローチ

14:25～15:05 Economics

東アジア諸国の産業 甲南大学経済学部教授 高 龍秀

関西の成長戦略と特区構想 甲南大学経済学部教授 稲田 義久

神戸とアジア 甲南大学経済学部教授 岡田 元浩

近代アジア経済史 甲南大学経済学部専任講師 平井 健介

15:15～15:55 Management

ファイナンス理論の浸透度：日韓比較 甲南大学経営学部教授 馬場大治

知的財産マネジメントの研究 甲南大学経営学部教授 SHRESTHA Manoj

経営理念の研究 甲南大学経営学部教授 奥野明子

従業員の自発性を促す職場のマネジメント 甲南大学経営学部教授准教授 尾形真実哉

（休憩）

16:05～16:25 Accounting

日本の法人税制におけるタックス・インセンティブ 甲南大学経営学部教授 古田美保

次世代マネジメント・コントロール 甲南大学経営学部教授 長坂悦敬

16:30～16:50 Commerce

プラットフォーム時代のイノベーション 甲南大学経営学部教授 中田善啓

ゲーム理論による提携形成過程 甲南大学経営学部教授 三上和彦

【3】総合討論 17:00～17:20

コメント 日本情報経営学会関西支部長 奥田 幸治 氏（元三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) チーフコンサルタント

17:30～ 交流会



・韓国国立ハンバット大学グローバルシンポジウム（2013年3月14日）

BI 研究所と研究交流協定を結んでいる韓国テジュン市の国立ハンバット大学でシンポジウムが開催され、下記のようなアカデミックプレゼンテーション、学術交流が行われました。

司会：Prof. W. S. Par（通訳：Prof. Pak）

Prof. BOKHYUN CHO 学部長 挨拶

1. Innovation of the platform age :Open business model（甲南大学中田教授）
2. Chessbrough's aspect of BM in Daeduk Valley firms（Prof. Min Kyung Se）
3. Korean and Japanese taxation systems for R&D（甲南大学古田教授）
4. IT and management accounting in Korean and Japanese companies（甲南大学長坂教授）
5. BPM 管理会計方法としての構築（新潟大学李教授）
6. Technology roadmap and its successful implementation strategy（Prof. Won Il Lee）総合討議



・2012年度 BI グローバルシンポジウム（第7回シンポジウム）

グローバル化に向かう日韓企業の実態と展望—文化と組織，ガバナンス，会計基準，財務政策，マネジメント—

甲南大学 BI（ビジネス・イノベーション）研究所では、文部科学省の私立大学戦略的研究基盤形成支援事業に採択（2010～2012年度）された研究プロジェクト「関西地域発イノベーション・プラットフォームの構築」を進めています。この度、その一環として日韓企業の実態比較と展望について考えるシンポジウムを開催しました。K-POP ブームが起き、スマートフォンのシェアでは世界トップとなった韓国企業は様々な分野でグローバル化を加速しています。一方、日本企業は新たな経営モデルを模索し続けています。日本と韓国は東アジアの隣国として関係が深く、文化や社会構造の多くの類似点と明確な相違点について再認識することはとても重要です。企業のガバナンス、財務政策、マネジメント、IT 戦略などの違いはどのようになっているのでしょうか。グローバル化に対応するために韓国では既に国際会計基準(IFRS)を導入しています。その実態はどうなっていて、日本企業は IFRS についてどう考えているのでしょうか。BI 研究所では、日韓企業の経営実態の相違を明らかにすべく、協定を結んでいる韓国国立ハンバット大学（Hanbat National University）インキュベーション・センターの協力を得て、2011年10月から12月にかけて、両国の上場企業を対象に大規模なアンケート調査を実施しました。このシンポジウムではその結果についても報告します。また、パネルディスカッションでは約130名の参加者とともに日韓企業の展望について共に考えました。

日 時 2012年7月17日(火) 13:00～16:10

場所 甲南大学 岡本キャンパス 甲友会館

【プログラム】

13:00～ ご挨拶基調講演

13:05～13:30 日韓の企業・社会文化構造の比較 ―儒教文化と組織・個人の行動様式―

新潟大学経済学部教授 李 健泳統一テーマ：グローバル化に向かう日韓企業の比較

13:35～13:55 国際会計基準(IFRS)の日韓企業への影響 甲南大学経営学部教授 若林公美

14:00～14:30 韓国における IFRS 導入実態 Hanbat National Univ. Prof.Sung-Whan, Park

Hanyang Univ. Prof.Yoo Chan, Kim

14:40～14:55 韓国のコーポレート・ガバナンス 甲南大学経済学部教授 高 龍秀

14:55～15:10 日韓企業の企業目的 甲南大学経営学部教授 馬場大治

15:10～15:25 日韓企業における IT 戦略, マネジメントの実態比較 甲南大学経営学部教授 長坂悦敬

15:30～16:05 パネルディスカッション

16:10 終了

2012-2013 年度 BI 研究会

第 24 回研究会 「社会科学系大学院生の研究発表会」

コーディネーター BI 研究所兼任研究員 三上 和彦

日 時 12月21日(土) 11:30～12:00 場 所 222 教室

「大阪・日本橋の商業集積変質からみたエリア・マーケティングの課題に関する研究」

甲南大学大学院社会科学部研究科経営学専攻修士課程 古米 祐太 氏

第 23 回研究会 「ビジネスモデルのイノベーション」

コーディネーター BI 研究所兼任研究員 中田善啓

日 時 12月13日(金) 13:30～16:30 (於: NC 東京 サピアタワー)

① 「ビジネスモデルの展開」 BI 研究所兼任研究員 中田 善啓教授

② 「中小企業のイノベーションを阻害するものとその対応を考える！―開発下請けからの脱却、高価値企業への転換」

株式会社テクノ・インテグレーション 社長 出川 通氏

第 22 回研究会 「アジア・中国ビジネスの今！―日本企業の対応を考える」

コーディネーター BI 研究所兼任研究員 杉田俊明

日 時 6月13日(金) 14:00～17:00 (於: NC 東京 サピアタワー)

① 「銀行の企業支援業務からみた昨今の中国ビジネスと日本企業の対応」

株式会社りそな銀行 アジア・ビジネス推進センター所長 伊沢 潔氏

② 「日本の製造業の競争優位とアジア・中国でのビジネス」

サカイオーベックス株式会社

特別顧問 藤澤 慶彦氏 (元東レ株式会社常務取締役)



第 21 回研究会「アジア・中国ビジネスの最新動向と日本企業の対応」

日 時：2013 年 1 月 16 日（水） 14:40～17:50 甲南大学

“日本企業に求められる新たな競争優位は何か ―新時代におけるアジア・中国ビジネスの戦略と実務”

アジア諸国および日本における企業間関係はますます深まりつつある一方で、様々な政治・外交リスクがビジネスに大きな影響を与えています。このような状況の中で日本企業はどのように競争優位を維持し、アジア・中国ビジネスに対応していくべきかについて検討するために、下記の通り研究会を開催しました

日時 2013 年 1 月 16 日（水）14:40～17:50（休憩並びに質疑応答時間を含む）

場所 甲南大学 岡本キャンパス 132 教室（1 号館 3 階）

司会・開会の挨拶：BI 研究所所長・経営学部教授 長坂悦敬 氏

講師：BI 研究所兼任研究員・経営学部教授 杉田俊明 氏

第 20 回研究会 “経営学探求とビジネスデザインの実践”

甲南大学ビジネス・イノベーション(BI)研究所では、2010 年度から文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業に採択された「関西地域発イノベーション・プラットフォームの構築」研究プロジェクトを進めてきました。この研究プロジェクトは、過去 5 年間の社会連携研究の成果を基盤に、グローバル社会への対応から、アジア地域に研究連携を広げ、更にはその中で本研究所がプラットフォームとしてさまざまな研究連携を実践し、またその中でどのような役割を果たしていくのかを検証するものです。その一環として、この度、甲南大学大学院社会科学研究科と共催で第 20 回研究会を開催しました。

多くの皆様にご参加いただき、有意義な議論をいただきましたこと、深く感謝いたします。

日時 2012 年 12 月 15 日（土） 11:00～14:00

場所 甲南大学 岡本キャンパス 221 教室（第 1 部）、142 教室（第 2 部）

座長：甲南大学経営学部教授 三上和彦

【プログラム】

第 1 部 ＜社会科学研究科大学院生による研究報告＞ 221 教室

11:00～12:00

発表テーマ：「バランスト・スコアカードの変遷と将来展望」

経営学専攻修士課程 山上 惣

発表テーマ：「デジタル革命が企業経営へ与えたインパクト」

経営学専攻博士課程 栗田 善伸

第 2 部 ＜甲南大学卒若手経営者、事業継承ビジネスパーソンによる研究報告＞ 142 教室

12:55～13:55

「事業設計の構造背景 ～世の中に提供できる価値とは～」

株式会社 G-cube 代表取締役社長 後藤広樹 氏（経営学部卒）

「経営理論と実践の違いー起業 4 年目からの考察ー」

天創堂株式会社 代表取締役社長 粕井健次 氏（経営学部卒）

「中小企業の生き残りをかけたイノベーションー4 代目後継者改革の試みー」

淀川精機株式会社 専務取締役 伊達康一 氏（経営学部卒）

第19回研究会 「イノベーション・プラットフォームの理論と実際」

日時 2012年5月29日（火）16:30-18:30

場所 BI 研究所



BI（ビジネス・イノベーション）研究所では、文部科学省「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」として、様々な視点から切り口から関西地域と東アジアの連携による創発型イノベーション・プラットフォーム構築に関する研究を進めている。本研究会では各研究者からその概要について報告した。

1. 研究報告

マルチサイド・プラットフォームについての理論的研究	中田善啓 教授
提携形成におけるファシリテーターの役割	三上和彦 教授
IFRS 導入意識に関する日韓企業実態比較研究	若林公美 教授
日韓企業の企業目的に関する研究	馬場大治 教授
IT 投資、管理会計に関する日韓企業実態比較研究	長坂悦敬 教授
アジアにおけるベンチャービジネス環境の現状と課題	倉科敏材 教授
韓国企業のイノベーションー日本企業はどう対抗すべきか？	高 龍秀 教授
企業におけるイノベーション支援の政策税制	古田美保 教授
将来を担う大学生の就職観とキャリア観の日韓比較	尾形真実哉 准教授

2. ディスカッション

ビジネス・イノベーション研究所 2010-2011 年度

・第6回シンポジウム 「甲南の三賢人による現代社会への提言」の開催

ビジネス・イノベーション研究所では、大学開設 60 周年記念事業の一環として、下記のとおり、シンポジウムを開催しました。

震災は我々に、自然の猛威とそのパワーを再認識させました。と同時に、我々が生み出した文明の利器である原子力、それが両刃の剣であることも思い知らされました。限られた地球資源の中で生きていかねばならない我々にとって、エネルギー問題は、回避できない緊急課題となっています。では、阪神・淡路大震災、東日本大震災などを経験した我々は、科学・技術・文明と、そしてそれと不可分に結びつく地域社会・地域経済と、今後どのように向き合えばいいのでしょうか。文明と自然、そして人間社会・経済との関係について、甲南大学の「三賢人」、特別客員教授である佐藤文隆、藤田昌久、加護野忠男の三氏にお話を伺い、今後我々が進むべき道について、示唆、並びに提言をいただきました。

◆「甲南の三賢人による現代社会への提言ー我々は科学・技術という文明と、どのように向き合うべきかー」

◆日時：平成23年11月3日（祝・木）14:00～17:00

◆場所：甲友会館大ホール

◆参加費：無料・先着 300 名

◆主催：甲南大学ビジネス・イノベーション研究所 共催：甲南平生国際フォーラム

◆プログラム

13:30 開場

14:00～14:05 開会の辞・趣旨説明

経営学部教授／ビジネス・イノベーション研究所長 西村順二

14:05～14:35 講演①「“極端な時代”：原子力の時代を生きて」

特別客員教授 佐藤文隆

14:35～15:05 講演②「震災と経済：創造的復興に向けて」

特別客員教授 藤田昌久

15:05～15:35 講演③「震災復興と地場産業」

特別客員教授 加護野忠男

15:45～16:55 パネル・ディスカッション

(パネラー)

学長 高阪薫

特別客員教授 佐藤文隆

特別客員教授 藤田昌久

特別客員教授 加護野忠男

(コーディネーター)

文学部教授／学長補佐 井野瀬久美恵

16:55～17:00 まとめ・閉会の辞

17:00 終了

・第3回 韓国ハンバット大学×BI 研究所 「グローバル・ビジネス・フォーラム」

2011年9月24日(土)、韓国ソウルにて、韓国・国立ハンバット大学の教員、ハンニャン大学の教員にも参加いただき、本学の教員とともに国際会計基準 IFRS 導入についての研究発表・ディスカッションを行ないました。

また、今後、日韓企業に対して経営実態に関するアンケート調査を同時に実施し、その結果を相互に分析するという共同研究について合意し、その進め方についても協議を行いました。

Konan & Hanbat University Global Business Forum 3rd Saturday, September 24, 2011, 12:30—17:30 in Seoul

(1) IFRS and Convergence in Japan

Hiromi Wakabayashi (Konan University) and Yoshiyuki Nagasaka (Konan University)

-Discussion

(2) IFRS and Adoption in Korea

Sung-Whan, Park (Hanbat University) and Yoo Chan, Kim (Hanyang University)

-Discussion

(3) Panel discussion

- Overview of the influence of IFRS- Future research in Japan and Korea

・台湾・東海大学との連携交流研究会「国際戦略提携と大学間連携」

■テーマ： 国際戦略提携と大学間連携

■研究発表者： 甲南大学ビジネス・イノベーション研究所兼任研究員 経営学部教授 杉田俊明 他 東海大学側 一名

■場所： 台湾 台中市 東海大学 経営学部 大会議室

■開催日時： 2010年11月4日(木) 10:00～12:00

・第2回 甲南大学×ハンバット大学「グローバル・ビジネス・フォーラム」

『日韓国際産学連携ネットワークの構築に向けて』

日時：平成22年7月8日(木) 13:00～17:00

場所：甲南大学 3号館 7階 第1会議室

第1セッション リサーチミーティング(研究者報告)

1. 「Introduction to Hanbat National University Business Incubation Center」
ハンバット大学・ビジネスインキュベーションセンター 所長 Sung Whan Park 教授
2. 「デジジョンの産業構造とビジネス・インキュベーターの役割」
ハンバット大学・ビジネスインキュベーションマネージャー Jeong Hyeon Jun 氏
3. 「国際経営学の視点からみた提携 ケース研究からの示唆」
甲南大学ビジネス・イノベーション研究所兼任研究員 杉田俊明教授

第2セッション スチューデントプレゼンテーション（学生発表・ディスカッション）

- ・ハンバット大学インキュベーションセンター「学生ビジネスプラン・コンテスト」のトップ2チームによる発表
1. 「家庭用小型風力発電機販売のビジネスプラン」
Lee Jong Young and Kwon Ju Seok (Hanbat Univ.)
 2. 「携帯電話をマルチリモコン化するビジネスプラン」
Yoon Jun Keun (Busan Univ.)
 - ・甲南大学経営学部西村ゼミ生3チームによるエコ3商品ビジネスプラン
 3. 「梅炭を使った消臭ゴミ箱」
Daiki SATO, Seiyu KA and Risa SHIRAISHI (Konan Univ.)
 4. 「100%リサイクル可能なペーパーボトル」
Misato HAYASHI, Keisuke TABUCHI and Ayaka MIYAUCHI (Konan Univ.)
 5. 「再生紙による就活名刺」
Izumi KIDA, Akira KIMURA, Akiko SAWAMURA, Takuya YAMAUCHI and Mika YOSHIDA (Konan Univ.)
 - ・甲南大学 経営学部ビジネスリーダー養成コース学生による企業研究
 6. 『トーホー』企業研究発表
Kazuki KITAI (Konan Univ.)

2010-2011 年度 BI 研究会

第18回研究会『東アジアにおける「ニュービジネス」への挑戦』

日 時：2012年3月8日(木) 13:00～16:00 (参加無料)

場 所：甲南大学 岡本キャンパス 9号館4階 第5会議室

<研究会スケジュール>13:00～16:00

司 会：マノジュ シュレスト氏（甲南大学ビジネス・イノベーション研究所兼任研究員／経営学部教授）

●パート1

「文部科学省の産学官連携の基本施策と大阪市立大学の上海展開の取り組み」

講 師：中島 宏 氏（大阪市立大学新産業創生研究センター副所長）

[略歴] 京都大学大学院 理学研究科（有機化学専攻）修了、東京大学理学博士 ユニチカ株式会社、研究室長・理事、赤穂化成株式会社 技術部長・取締役、京都リサーチパーク株式会社 フェロー（技術顧問）、大阪市立大学産学連携推進本部コーディネーター等を経て、現在 大阪市立大学 新産業創生研究センター副所長兼産学連携コーディネーター

●パート2

「日本における産学連携、大学発ベンチャーの状況とアジア人材の参画」

講 師：長谷川 新 氏（財団法人大阪市都市型産業振興センター 大阪産業創造館 おおさかなレッジフロンティア推進機構 チーフプランナー）

[略歴] 大阪大学工学部電子工学科修了（㈱リクルートにて通信事業に従事。途中、大阪市の大阪産業創造館開設準備に携わる。

中堅の人材派遣会社の役員、上場物流会社コンプライアンス関係業務を経て、独立。現在は個人事業主として、産学連携、技術系ベンチャー支援を中心に、大阪大学 産学連携本部 特任准教授、財団法人大阪市都市型産業振興センター チーフプランナー、財団法人大阪科学技術センター イノベーション推進室 プロデューサー等として活躍中。

第 17 回研究会「中国・アジアビジネスの最新動向と日本企業の課題」

日 時： 2011 年 9 月 28 日 (水) 15:00～17:30 (参加無料)

場 所： 甲南大学 岡本キャンパス

＜研究会スケジュール＞15:00～17:30

司会・コーディネーター：杉田俊明氏（甲南大学ビジネス・イノベーション研究所兼任研究員/経営学部教授）

●ユニクロの中国・アジアビジネスとグローバル展開

講師：久保田勝美氏（株式会社ファーストリテイリング 事業開発部 リーダー）

●銀行からみた中小企業の中国・アジアビジネスとその課題

講師：伊沢 潔氏（株式会社りそな銀行 アジアビジネス推進センター所長）

＜研究会テーマ・内容＞

円高が進行する中で日本企業は輸出入の展開を改めて見直さなければならない状況にあり、また、海外進出を含め、グローバル戦略を一層強化しなければならない状況にあります。生産拠点として、また、消費市場として、これからの中国ビジネスをどう展開すべきか、また、アジアとのバランスをどうとるべきか。今回の研究会では、中国・アジアでの生産と販売の双方において快進撃を続けている企業の担当者、そして、自社の展開と同時に、中小企業の中国・アジアビジネスを支援してきた企業の担当者の体験談を聞きながら、研究会参加の方々とともに、日本企業の戦略と実務について討議した。

第 16 回研究会「東アジアにおけるイノベーションとオーナー経営ーサムスン電子の事例からー」

日 時： 2011 年 1 月 28 日 (金) (参加無料) 18:30～20:30

場 所： TKP 東京駅日本橋ビジネスセンター7 階のカンファレンスルーム 7B

テーマ：東アジアにおけるイノベーションとオーナー経営ーサムスン電子の事例からー

講師：吉川 良三 氏

（東京大学ものづくり経営研究センター特任研究員、元日本鋼管エレクトロニクス本部開発部長、前サムスン電子常務取締役）

第 15 回研究会「中国ビジネスはどうあるべきか」

日 時： 2010 年 12 月 2 日 (木) 15:00～18:00 (参加無料)

場 所： 甲南大学ネットワークキャンパス東京

＜研究会プログラム＞15:00～18:00

●新時代におけるわが社中国事業の戦略と実務——約 1 万人の現地従業員とともに

担当：中山良一氏 三洋精密（株） 常務取締役 / 中国現地法人 元総経理 中国駐在約 8 年

●中国ビジネスの戦略再考と事業再編——従来手法からの脱却と新たなビジネスモデル

担当：杉田俊明氏 甲南大学ビジネス・イノベーション研究所兼任研究員 / 経営学部教授

●質疑応答

＜研究会テーマ・内容＞

円高の中で日本企業は国際事業の展開を一層強化しなければならない状況ですが、中国ビジネスのほうは日中間における政治的な問題や中国側の対応、そして労働争議などによって影響が出ているのが実情です。中国との貿易、中国への直接投資、現地での経営はどうあるべきか、そして、中国とバランスをとるためのアジアビジネスをどうすべきか、今回の研究会では、中国現地法人において

経営を経験した関係者の方々と、中国・アジアの関連業務を長年担当してきた研究者が研究会参加の方々とともに、日本企業の戦略と実務について討議しました。

甲南大学ビジネス・イノベーション研究所 公開講演会

「堂島ロールのヒミツ ー成功事例から学ぶ経営戦略の革新ー」

講師・株式会社モンシュシコ代表取締役社長 金 美花 氏

コメンテーター・甲南大学ビジネス・イノベーション研究所長 西村順二氏

日時 平成 23 年 7 月 2 日 (土) 14: 00ー16・30

場所 甲南大学ネットワークキャンパス東京

甲南大学ビジネス・イノベーション研究所 公開講座『マーケティング視点からのロジカル・シンキング』

■講師：西村 順二（甲南大学ビジネス・イノベーション研究所長・経営学部教授）

■日時：2010 年 10 月 11 日（木）18：00ー21：00

■場所：甲南大学ネットワークキャンパス東京

テーマは、「マーケティング視点からのロジカル・シンキング」。約 50 名の講座参加者の下、ビジネスの現場において必要とされるマーケティングに基づく論理思考の重要性についての講演が、本研究所長の西村順二氏によって行われた。

ビジネス・イノベーション研究所 2005～2009 年度

第 5 回シンポジウム 「気候変動と企業経営」

日 時：2008 年 7 月 3 日 (木) 午後 1 時から午後 6 時まで

場 所：甲南大学 甲友会館

地球温暖化への対策が喫緊の課題となるなか、気候変動がもたらす企業経営への影響を的確に把握し、地球温暖化を防止・緩和する対策を事業活動に取り入れる取り組みが求められています。シンポジウムの全体テーマとして「気候変動と企業経営 ーカーボン・マネジメントと地球環境問題への貢献ー」を設定し、地球温暖化対策に関するディスクロージャーを促進する観点から、大学研究者および公認会計士による講演ならびに討議を行うものです。

地球温暖化対策の事業活動への融合を促進するためには、その取り組みを社会に広く公開し、企業経営それ自体の意識を高めると同時に、取り組みを実効性あるものに発展させていく必要があります。ディスクロージャーは、ステークホルダーの関心が高いだけに、実効性ある地球温暖化対策を自主的に促進するための切り札の一つと言っても過言でないでしょう。

そこで、本シンポジウムでは、CO₂排出削減に代表される脱カーボン資源社会への移行にともなって重要性を増している、カーボン・マネジメントの一環としてのサプライチェーン・マネジメントの観点を含めた企業経営のあり方に関する基調講演にもとづき、気候変動リスク対応とCO₂排出量に関する開示、排出量取引の経営課題、CSR報告のKPI (Key Performance Indicators)、およびこれらの情報の信頼性の保証のあり方の4側面を討議しました。

<プログラム>

13:00-13:05 開会挨拶 (中田善啓 BI 研究所長、経営学部教授)

13:05-13:10 学長挨拶 (高阪薫学長)

13:10-13:15 プログラム説明 (内藤文雄運営委員、経営学部教授)

13:15-13:45 基調講演: 上妻義直氏 (上智大学教授) 「気候変動と企業経営」

13:45-14:15 パネル報告 (1) 「気候変動リスクと温室効果ガス排出量に関する情報の開示」

水口剛氏 (日本公認会計士協会経営研究調査会環境会計専門部会長)

14:15-14:45 パネル報告 (2) 「排出量取引制度とその実態」

魚住隆太氏 (日本公認会計士協会経営研究調査会排出量取引等専門部会長)

15:00-15:30 パネル報告 (3) 「CSR 情報と KPI」

竹村純也氏(日本公認会計士協会経営研究調査会 CSR 情報専門部会長)

15:30-16:00 パネル報告(4) 「CSR 情報の信頼性の保証をめぐる国内外の実態」

沢味健司氏(日本公認会計士協会経営研究調査会 CSR 保証専門部会長)

16:15-17:55 パネル討議 「気候変動がもたらす企業経営への影響とビジネス・イノベーション」

コーディネーター 内藤文雄 パネラー 上妻義直氏、水口剛氏、魚住隆太氏、竹村純也氏、沢村健司氏

17:55-18:00 閉会挨拶(長坂悦敬運営委員、経営学部長・教授)

18:15-20:00 懇談会

第4回シンポジウム 「IT 革命と地域活性化」

日時 2007 年 5 月 26 日(土)9:30~12:10

場所 甲南大学

プログラム

開題 中田善啓氏(甲南大学ビジネス・イノベーション研究所所長)

「IT 革命の下における都市再生とクラスター戦略—空間経済学の視点から—」 藤田昌久氏(甲南大学特別客員教授京都大学経済研究所教授)

「金融改革と流通」 西村清彦氏(日本銀行政策委員会審議委員)

「百貨店と街作り」 奥田務氏(株式会社大丸会長兼 CEO) 司会・コーディネーター 成生達彦氏(京都大学大学院教授)

(日本商業学会及び甲南大学ビジネス・イノベーション研究所共催で開催しました。)

第3回シンポジウム 「ビジネス・プロセス革新 —企業持続的発展の源泉を探る—」

本シンポジウムでは、まず、基調講演にて、ビジネス・プロセス・マネジメントのフレームワークおよびビジネス・プロセス革新の最新事例を学び、パネルディスカッションでは、パネラーだけでなくフロア参加者とともに、エクセレントモデルの抽出を試みるとともに今後のビジネス・プロセス革新にあり方を探りました。

企業が持続的に発展し続けるためには、IT 革新、Global 競争、顧客パワー増大というような外部環境変化に対応し、ビジネス・プロセスはタイミングよく柔軟に、しかし、迅速に改革される必要がある。そのプロセス改革時には、製品特性、権限委譲、企業文化というような内部環境変化も影響を与えながら、最も適した管理システムの導入が進む。その管理システムとして、企業内外におけるプロセス相互間の連携とコア・プロセスの強化を目的とするプロセス・マネジメント (Process Based Management) が注目されています。

開催日時：2006 年 7 月 8 日 (土) 13:30~17:20

開催場所：甲南大学 甲友会館 大ホール

13:30 学長挨拶 杉村芳美

13:45 所長挨拶 中田善啓

13:50 基調講演 「価値創造とビジネス・プロセス・マネジメント」新潟大学経済学部教授 李 健泳氏

事例報告

14:45 「ロジスティクス改革によるビジネス・プロセス革新事例」

佐川急便(株) サプライチェーンロジスティクス事業部 チーフコンサルタント 浜崎 章洋氏

15:15 「安全と環境」 (株)堀場製作所 新事業統括センター 石倉理有氏

15:45 「デザイン・プロセス・マネジメント革新への試み」 (株)竹中工務店 設計部 副部長 清水弘之氏

16:15 「交通コミュニティカードによる地域活性化の事例」 神戸カード協議会 西田純二氏

16:40-17:20 パネルディスカッション「ビジネス・プロセス革新の実現に向けて」

コーディネーター 甲南大学経営学部教授 長坂悦敬

パネラー 李 健泳氏、浜崎章洋氏、石倉理有氏、清水弘之氏、西田純二氏

第2回シンポジウム「日中経済連携と日本企業の対応について」

当研究所は関西に位置しており、関西の対外経済交流において中国は最大の割合を占めています。日中経済連携と日本企業の対応について検討する場合、現地における中国側政策制定関係者の意見や、実際に現地で経営している日系企業の経営者、それらの経営を補佐している専門家の意見に耳を傾けることが重要です。

開催日時：2005年9月5日



中国・北京にて下記の内容による第2回シンポジウムを開催しました。

●松下電工(株) 海外事業統括担当常務取締役 田中弘司氏（前 中国駐在 松下電工中国統括会社総裁・総代表）

「我が社中国現地法人グループの戦略と事業再編について」

●清華大学 企業管理学院 副教授 石永恒氏「(中国の識者がみる) 日系企業の中国現地経営について」

●中倫金通運律師事務所 中国涉外弁護士 吳鵬氏「日中ビジネス、トラブルの現状と対応について」

●司会・コーディネーター：

甲南大学 経営学部 教授 杉田俊明

甲南大学 ビジネス・イノベーション研究所 兼任研究員、中国 中山大学 企業管理研究所 特約教授

第1回シンポジウム (BI 研究所オープンセレモニー)「企業家精神の発揮－伝統的ファミリー企業を中心に－」

日時：2005年7月9日(土)

場所：甲南大学甲友会館

13:00 開場

14:00 学長挨拶

14:10 所長挨拶

14:20 シンポジウム基調講演

「阪神地域の活性化と伝統的企業の役割」 堺屋 太一氏

早稲田大学学督、元経済企画庁長官

15:20 パネルディスカッション 「伝統的企業と地域活性化・イノベーション」

＜パネリスト＞

市村 次夫氏 (株)小布施堂、(株)枳一市村酒造取締役社長

辰馬 章夫氏 辰馬本家酒造(株)取締役社長、西宮商工会議所会頭

倉科 敏材氏 甲南大学経営学部教授

＜コーディネーター＞

川島 譲氏 (株)ティーイーエヌ代表取締役社長

元(株)プレジデント社代表取締役

16:50 古我知史氏 FBN 日本理事長 挨拶

＜総司会＞ 倉科 敏材 甲南大学経営学部特任教授 ビジネス・イノベーション研究所兼任研究員



特別研究会 甲南大学ビジネス・イノベーション研究所とハンバット大学インキュベーションセンターの学術交流に関する協定書の締結 「グローバル・ビジネス・フォーラム」の開催

開催日時：2010年3月19日 午後1時から午後3時30分まで

開催場所：韓国ハンバット大学

3月19日に韓国ハンバット大学で甲南大学ビジネス・イノベーション研究所とハンバット大学インキュベーションセンターの間で、学術交流についての協定書が締結された。ハンバット大学学長 Sul Dogho 氏、ハンバット大学経営学部長 Eug Kyu Kim 氏他ハンバット大学教員と甲南大学経営学部長長坂悦敬氏、甲南大学教授西村順二氏の立ち会いの下、甲南大学ビジネス・イノベーション研究所長中田善啓氏とハンバット大学インキュベーションセンター長 Sung-Whan Park 氏が協定書に調印した。

両研究所は学術及び教育上の活性化を促進するために、研究会、国際的な産学連携成功事例の開発を行うことになった。調印の後「グローバル・ビジネス・フォーラム」が開催され、日本と韓国との提携についての発表、ディスカッションがあった。



甲南大学ビジネス・イノベーション研究所とハンバット大学インキュベーションセンターとの特別研究会の開催

開催日時：2010年2月19日（金）午後1時30分から午後5時まで開催

場所：甲南大学3号館7階第2会議室

甲南大学ビジネス・イノベーション研究所がこれまで行ってきました産官学の社会連携の成果を基盤にして、東アジアの研究機関との連携を進めていくために、韓国のハンバット大学のインキュベーションセンター（創業支援センター）との共同研究会が、2月19日に甲南大学で開催されました。両研究所が今後提携するために、テーマは「日本と韓国の産学連携の現状と課題」で行われました。ハンバット大学から Eungkyu Kim 氏（ハンバット大学教



授、Dean of Economics and Business 甲南大学ビジネス・イノベーション研究所がこれまで行ってきました産官学の社会連携の成果を基盤にして、東アジアの研究機関との連携を進めていくために、韓国のハンバット大学のインキュベーションセンター（創業支援センター）との共同研究会が、2月19日に甲南大学で開催されました。両研究所が今後提携するために、テーマは「日本と韓国の産学連携の現状と課題」で行われました。ハンバット大学から Eungkyu Kim 氏（ハンバット大学教授、Dean of Economics and Business College）から「ハンバット大学の Economics & Business College の活動」、Sung-Whan Park 氏から（ハンバット大学教授、インキュベーションセンター所長）「韓国におけるビジネスインキュベーション」、李健泳氏（新潟大学経済学部教授）、「新潟大学経済学部と東アジアとの交流」、中田善啓氏（甲南大学ビジネス・イノベーション研究所長 経営学部 教授）より「甲南大学ビジネス・イノベーション研究所の取り組み」の発表が行われました。ハンバット大学ビジネスインキュベーションセンターと甲南大学ビジネス・イノベーション研究所の活動について討議が行われ、相互理解を深めました。ハンバット大学ビジネスインキュベーションセンターと甲南大学ビジネス・イノベーション研究所とが学術交流を行うために、提携することが合意されました。

BI 研究会 2005～2009 年度

第14回研究会（2010年3月13日開催）「商店街は、地域再生の拠点となりえるのか」

日時：2010年3月13日（土）13:30-17:50

場所：甲南大学3号館7階第1会議室

2010年3月13日（土）、甲南大学岡本キャンパスに於いて甲南大学ビジネス・イノベーション研究所主催の第14回研究会が開催された。当日は、標記テーマに基づき国（独立行政法人 中小企業基盤整備機構）や地方自治体（兵庫県と神戸市）、街づくりに深く関わる街づくりプランナーと、そして商店街組織や街づくりを研究する学術研究者による活発な討論が行われた。商店街研究の第一人者である石原武政氏（関西学院大学商学部 教授）による基調講演のあと、商店街支援を行う行政、街づくりプランナー、そして学術研究者から最新の事例報告があり、その後上記講演者全員によるディスカッションが行われた。

<研究会スケジュール>

司会進行：甲南大学ビジネス・イノベーション研究所兼任研究員 西村 順二 氏

13:30～13:35 挨拶 甲南大学ビジネス・イノベーション研究所長 中田 善啓 氏

13：35～13：40 研究会趣旨説明 甲南大学ビジネス・イノベーション研究所兼任研究員 経営学部教授 西村 順二 氏
13：40～14：40 講演『商店街からのまちづくり』 関西学院大学 商学部 教授 石原 武政 氏
14：50～15：05 事例報告 1 兵庫県産業労働部産業振興局 経営商業課 副課長（商業担当）兼 商業活性化係長 桂 隆 氏
15：05～15：20 事例報告 2 まちづくり株式会社コー・プラン まちづくりプランナー 吉川 健一郎 氏
15：20～15：35 事例報告 3 中小企業基盤整備機構近畿支部 経営支援部 まちづくり支援課長 長坂 泰之 氏
15：35～15：50 事例報告 4 流通科学大学 商学部 准教授 横山 斉理 氏
15：50～16：05 事例報告 5 財団法人神戸市産業振興財団 経営支援部商業支援課長 中多 英二 氏
16：15～17：45 全員によるディスカッション モデレーター 甲南大学ビジネス・イノベーション研究所兼任研究員 西村 順二 氏
17：45～17：50 閉会の挨拶

第13回研究会（2010年2月27日開催）「提携形成のゲーム理論的分析」

日時：2010年2月27日（土）14：00-17：30

場所：甲南大学9号館4階 第6会議室

本研究所の設立趣旨にあるように、地域経済、地域社会の活性化のためには企業、大学、官公庁など異なる組織による連携が必要である。協力し合うことが望ましいという考えは誰もが共有していると思われるが、それをどう実現するかについて意見の一致がみられることはまれである。これは個々の連携、協力に対するインセンティブが異なるためである。ゲーム理論はそうした必ずしも同一ではない利害関係を持った者が最適な判断をするにはどうしたら良いかを考える研究分野である。今回の研究会では、一般均衡理論からのアプローチを研究されている京都産業大学の加茂知幸氏、最新のゲーム理論に精通されている一橋大学の岡田章氏をお迎えして、提携、協力の実現に関する理論的な可能性を検討した。

＜研究会スケジュール＞

司会進行：甲南大学ビジネス・イノベーション研究所兼任研究員 三上 和彦 氏

14：00～14：05 歓迎の辞

甲南大学ビジネス・イノベーション研究所長 中田 善啓 氏

14：05～14：10 開会の辞 兼 司会

甲南大学ビジネス・イノベーション研究所兼任研究員 経営学部 准教授 三上 和彦 氏

14：10～15：40 「Default and Risk Sharing in Security Markets」

京都産業大学 経済学部 准教授 加茂 知幸 氏

16：00～17：30 「Dynamic Group Formation in Repeated Prisoner's Dilemma」

一橋大学大学院 経済学研究科 教授 岡田 章 氏



第12回研究会（2009年10月30日開催）「日本企業の中国・アジアビジネス戦略」

日時：2009年10月30日（土）15：00-17：30

場所：甲南大学ネットワークキャンパス東京

世界金融危機後、経済不況からもっとも早く回復に向かったのは中国・アジアである。日本企業は中国・アジアにおいては、「世界の工場」として位置付けているだけではなく、「世界の市場」としても位置付け、ビジネス戦略の練り直しを行っている。本研究会において、司会兼コーディネーターは甲南大学ビジネス・イノベーション研究所兼任研究員、経営学部教授杉田俊明氏が務め、製造業における代表的な企業であるパナソニック（海外企画グループ戦略企画チーム・チームリーダー）の杉浦直樹氏と、製造小売り企業における勝ち組の代表であるユニクロ（海外事業本部プロジェクトリーダー）の久保田勝美氏がそれぞれ自社の事例について講演を行った。簡潔明瞭、また、経営に多くの示唆を与える両氏の講演が好評であり、出席者一同が熱心に関連テーマについて討議を行なった。

<研究会スケジュール>

司会進行：甲南大学ビジネス・イノベーション研究所兼任研究員 杉田 俊明 氏

15:00～15:05 歓迎の辞

甲南大学ビジネス・イノベーション研究所長 中田 善啓 氏

15:05～15:10 開会の辞 兼 司会

甲南大学ビジネス・イノベーション研究所兼任研究員 経営学部 教授 杉田 俊明 氏

15:10～16:00 「パナソニックの中国・アジアビジネス戦略と実務」

パナソニック 海外企画グループ戦略企画チーム チームリーダー 杉浦 直樹 氏

16:10～17:00 「ユニクロの中国・アジアビジネス戦略と実務」

ユニクロ 海外事業本部 プロジェクトリーダー 久保田 勝美 氏

17:00～17:30 質疑応答

第11回研究会（2009年5月29日開催）「ファミリー企業とリスク」

日時：2009年5月29日（金）17:00-19:00

場所：甲南大学ネットワークキャンパス東京

ファミリー企業は、専門経営者企業にはない様々な経営のメリットを有しています。一方で大株主であり、かつ経営者であることから、専門経営者企業にはないさまざまなリスクも有しています。そこで今日の研究会ではそれらの課題と対応についてファミリービジネス学会、日本リスクマネジメント学会およびリスク・プロフェッショナル学会の3学会共同の研究会を通じて明らかにすることを目的にしています。

司会進行：甲南大学ビジネス・イノベーション研究所兼任研究員 倉科 敏材 氏

17:00～17:05 歓迎の辞

甲南大学ビジネス・イノベーション研究所長 経営学部 教授 中田 善啓 氏

17:05～17:10 開会の辞

甲南大学ビジネス・イノベーション研究所兼任研究員 経営学部 教授 倉科 敏材 氏

17:10～18:00 「老舗ブランド過信による経営リスク」

千葉商科大学 藤江 俊彦 氏

18:00～18:50 「ファミリービジネスと事業承継問題」

関西大学 総合情報学部 教授 亀井 克之 氏

18:50～19:00 閉会の辞

専修大学 上田 和勇 氏

第10回研究会（2009年1月24日開催）「ベンチャー企業の革新性とその継続可能性」

日時：2009年1月24日（土）13:30-17:30

場所：甲南大学2号館222講義室

ベンチャー企業の革新性とその継続可能性をテーマに、ベンチャーに関わる方たちのお話を聞く事で、ベンチャー企業のこれまでに振り返り、そして今後の可能性や課題について議論を行うものです。

<研究会スケジュール>

13:30～13:35 解題

甲南大学ビジネス・イノベーション研究所兼任研究員 経営学部教授 西村 順二 氏

13:35～14:00 行政からの報告 「地域経済とインキュベーション」

財団法人神戸市産業振興財団 経営支援部 創業・新事業推進課長 藤原 善浩 氏

14:00～14:25 現場からの報告① 「デジタルネイティブが世界を変える～ネットワーク社会の新ビジネス秩序～」

株式会社アーカム 代表取締役社長 畠中 英秋 氏

14：25～14：50 現場からの報告②「自社特許技術 スクリーンコードの事業展開」

株式会社アポロジャパン 取締役 岸上 郁子 氏

15：00～15：25 学識からの報告 「新時代の経営環境と起業家的人材育成」

追手門学院大学 教授 ベンチャービジネス研究所長 小西 一彦 氏

15：25～15：50 支援機関からの報告 「第二創業の革新と公的支援」

独立行政法人中小企業基盤整備機構近畿支部 総括プロジェクトマネージャー 橋本 豊嗣 氏

16：00～17：25 ディスカッション

討論者：財団法人神戸市産業振興財団 経営支援部 創業・新事業推進課長 藤原 善浩 氏

株式会社アーカム 代表取締役社長 畠中 英秋 氏

株式会社アポロジャパン 取締役 岸上 郁子 氏

追手門学院大学 教授 ベンチャービジネス研究所長 小西 一彦 氏

独立行政法人中小企業基盤整備機構近畿支部 総括プロジェクトマネージャー 橋本 豊嗣 氏

甲南大学ビジネス・イノベーション研究所長 経営学部 教授 中田 善啓 氏

モデレーター：甲南大学ビジネス・イノベーション研究所兼任研究員 経営学部 教授 西村 順二 氏

17：25～17：30 閉会の辞

甲南大学ビジネス・イノベーション研究所長 経営学部 教授 中田 善啓 氏

第1回学内研究会（2008年12月10日開催）

テーマ：「加工食品業界におけるサプライチェーン・マネジメントの展開に関する研究－ネットワーク・オーガナイザーとしての卸売業者－」

日時：2008年12月10日（土）16：20～

場所：甲南大学ビジネス・イノベーション研究所

発表者：玄野博行（甲南大学社会科学部研究科博士課程）

第9回研究会（2008年11月27日開催）「離陸したインド経済－台頭するアジアの巨象の行方を探る－」

日時：2008年11月27日（木）17：00～19：30

場所：甲南大学「ネットワークキャンパス東京」

企業経営視点から見ると世界の注目市場は1960年代の日本、70年代の韓国・台湾・香港・シンガポールのN I C S（新興工業国）、80年代のA S E A Nと中国、90年代のインド、2000年初頭のB R I C s（ブラジル、ロシア、インド、中国）と、アジアを中心に変遷してきました。対外開放経済をとった中国が短期間に急成長し、世界の生産・販売のシステムを構造的に変容させています。中国一国に集中した貿易・投資のリスク分散から“チャイナ・プラス・ワン”のコンセプトがあらわれ「プラス・ワン」にタイ、ベトナム、インドが取り上げられました。そして中国に続く期待の新興国として1991年より外資に対する開放政策をとったインドが世界中から脚光を浴びています。成長市場としてのインド、生産拠点（輸出拠点）としてのインド、研究開発拠点としてのインドの可能性を探る上で今日までのインド経済の軌跡を振り返り将来を展望する発表がなされました。出席者は、トヨタ自動車、パナソニック、三菱東京UFJ銀行、日経新聞社、弁護士事務所、特許事務所、官・民のシンクタンクなどから40名強があり産官学ともこのテーマへの関心の深さを見せました。

＜研究会スケジュール＞ 16：30 開場・受付開始

司会進行：甲南大学ビジネス・イノベーション研究所兼任研究員 経営学部 特任教授 安積敏政

17:00-17:05 開会の挨拶 甲南大学ビジネス・イノベーション研究所長 中田 善啓氏

17:05-17:45 発表1： 法政大学経済学部長 絵所 秀紀教授 「離陸したインド経済」
18:00-18:40 発表2： 福岡大学商学部 石上 悦朗教授 「インド IT 人材教育の現状と課題」
18:50-19:00 質疑応答
19:00 閉会

第8回研究会 ～ファミリービジネス学会・ファミリービジネス研究所設立報告会～

テーマ：同族企業経営の進化を目指して

日時：2008年10月25日(土)14:00～17:00(13:00～受付開始)

場所：甲南大学

13:30～ 開会のあいさつ

13:40～ 学会設立趣旨、設立報告

倉科 敏材氏(甲南大学ビジネス・イノベーション研究所兼任研究員・経営学部教授)

14:00～ 基調講演1 「同族企業の強み」

加護野 忠男氏(神戸大学大学院教授)

14:45～ 基調講演2 「家族関係の新潮流」

畠中宗一氏(大阪市立大学大学院教授)

15:45～ パネルディスカッション

ファミリー企業経営者3名

コーディネーター 亀井 克之氏(関西大学教授)

16:45～ 研究所設立趣旨、設立報告

PWC パートナー 大津 真氏(前日本銀行沖縄支店長)

17:00 閉会

第7回研究会(2008年1月23日開催)「地域別特性で解く中国ビジネスー華南、華東、華北など各地域の政策や商習慣、ヒトからみたビジネスの特性について」

日時：2008年1月23日(土)14:30-17:30

場所：甲南大学9号館4階 第6会議室

中国ビジネスは日本にとってますます大きなプレゼンスを占めるようになってきています。国への直接投資を行い、日中間や対世界との貿易のさらなる拡大と同時に、ますます巨大化する中国市場への参入においても、その魅力が増しています。

ところで、中国は政治的には「一つ」ではあるが、その広さは日本の26倍もあるが故に、京や上海、そして広東など、それぞれの地域にはそれぞれの特性があります。中国ビジネスを成功に導くには、まずはそれらそれぞれの特性を正確に把握し、それらに見合った戦略と実務が求められます。

今回の研究会は、日本を代表する企業の方々、また、それぞれ複数の地域にて勤務や業務を担当されてきた方々を講師に招き、中国の各主要地域特性、とりわけ人的特徴、商習慣などを検討し、それぞれの地域に適合するビジネスモデルを検討するものです。

日本企業と中国各地域の企業との一層の経済連携を推し進めるために、また、中国ビジネスの一層の発展、あるいは中国に対する地域研究を深めるために、本研究会は多少なりでも貢献できればと思います。

<研究会スケジュール>

14:30 - 14:35 開会のご挨拶

甲南大学ビジネス・イノベーション研究所 所長 中田 善啓氏

14:35 - 14:40 全体提議

杉田 俊明氏(甲南大学ビジネス・イノベーション兼任研究員、甲南大学経営学部教授)

14 : 40 - 15 : 30 講演 (50 分)

「中国での駐在経験からみた中国ビジネスの地域別特性」

石岡 徹氏 (伊藤忠商事株式会社 海外担当役員付審議役)

15 : 30 - 16 : 10 講演 (40 分)

「現地法人の経営管理から見た中国ビジネスの地域別特性」

高橋 誠治氏 (日華化学株式会社 経営企画室次長)

16 : 20 - 17 : 00 講演 (40 分)

「中国人管理職からみた中国ビジネスの地域別特性」

張 紹哲氏 (松下電器産業株式会社 人材開発カンパニー参事・社内特別講師)

17 : 00 - 17 : 30 質疑応答・全体討論

司会・コーディネーター：杉田 俊明氏 (甲南大学経営学部教授)

[産官学連携研究会 \(2008 年 1 月 17 日開催\)「産官学連携に向けてー甲南大学ビジネス・イノベーション研究所への提言ー」](#)

日 時 : 2008 年 1 月 17 日 (木) 13 : 30-17 : 00

場 所 : 甲南大学 5 号館 1 階 キャリアセンター講義室

産官学の連携、および今後の甲南大学ビジネス・イノベーション研究所の方向性甲南大学について、OB、OG 関係者、甲南大学と包括的契約を結ぶ企業関係者から提言を受けました。発表後、甲南大学ビジネス・イノベーション研究所運営委員の研究員とのディスカッションを行いました。なお、この研究会の参加者は発表者と甲南大学ビジネス・イノベーション研究所運営委員の研究員です。

講演 13 : 30 - 15 : 25

甲南大学 OB 関係者

(株) エス・エル・シー 代表取締役 西田 玲氏

(株) ディーエスピーリサーチ 代表取締役 中西 伸浩氏

日本テクノロジーソリューション (株) 代表取締役 岡田 耕治氏

東邦邦レオ (株) 代表取締役 橘 敏夫氏

甲南大学と包括的契約を締結している企業関係者

尼崎信用金庫 業務部長 執行役員 藤澤 恒雄氏

池田銀行 大阪梅田営業部 ネットワーク推進部ニュービジネス推進室

調査役 酒井 眞氏

ディスカッション 15 : 25 - 17 : 00

司会：甲南大学フロンティア研究推進機構長 ビジネス・イノベーション研究所兼任研究員 甲南大学教授 長坂悦敬氏

参加者・講演者：西田玲氏，中西伸浩氏，岡田耕治氏，橘俊夫氏，藤澤恒雄氏，酒井眞氏，松葉貴義氏 (尼崎信用金庫)，中田善啓氏，藤田昌之氏，安積敏政氏，長坂悦敬氏

第6回研究会（2007年12月8日開催）「海外遺伝資源を活用した産学官連携について」

日 時：2007年12月8日(土) 13:00-16:00

場 所：甲南大学3号館7階 第1会議室

＜研究会スケジュール＞

13:00-13:10 開会のご挨拶

甲南大学ビジネス・イノベーション研究所 所長 中田 善啓氏

13:10-14:00 講演(40分) 「遺伝資源へのアクセス・利益配分(ABS)の現状と課題」

マノジュ・L・シュレスタ氏 (甲南大学経営学部教授)

14:10-15:00 講演(40分) 「生物多様性条約：遺伝資源をめぐる国際ルール」

安藤 勝彦氏 ((独)製品評価技術基盤機構 バイオテクノロジー本部、生物遺伝資源開発部門長)

15:10-16:00 講演(40分) 「海外遺伝資源を活用した産学官連携について ―九州大学の事例―」

深見 克哉氏 (文部科学省産学官連携コーディネーター、九州大学特任教授)

コーディネーター：マノジュ・L・シュレスタ氏 (甲南大学経営学部教授)

第5回研究会 「産業クラスターと地域活性化」

日 時：2007年7月21日(土) 12:45～16:35(12:45 開場)

場 所：甲南大学211 講義室(2号館1階)

＜研究会スケジュール＞

13:00～13:15 開会のご挨拶

中田 善啓氏(甲南大学教授・甲南大学ビジネス・イノベーション研究所 所長)

13:15～14:15 「地域活性化における二つの潮流―まちづくり・むらおこし運動と産業クラスター政策」

藤田 昌久氏(甲南大学教授・独立行政法人経済産業研究所 所長)

14:25～15:25 「産業クラスター政策と京滋地域の製品開発型中小企業」

児玉 俊洋氏(京都大学経済研究所 教授)

15:35～16:35 「社会連携のアンケート調査の結果について―関西の中小企業の課題」

中田 善啓氏(甲南大学教授・甲南大学ビジネス・イノベーション研究所 所長) コーディネーター

司会 西村 順二氏(甲南大学教授・甲南大学経営学部長)

第4回研究会（2007年2月16日開催）「各種予測」

日 時：2007年2月16日(金) 13:30-17:00

場 所：甲南大学2号館1階 213 会議室

SCM等において販売予測は不可欠ですが、一般に出されている時系列解析手法であるARモデル、ARMAモデル、ARIMAモデルなどをそのまま適用しても予測精度はあまりよくないことが多々見られます。トレンドの除去、季節変動の除去、各種予測手法の組み合わせ等で予測精度を高めることができます。また、そういった改良された手法は株価予測、景気予測等幅広く活用することができます。本研究会では、手法の改善、産業界データへの適用等について幅広く検討し、議論を深めました。

＜研究会スケジュール＞

(1) 13:30-13:35 開会のご挨拶

(2) 13:35-14:40 「時系列解析と予測」 大阪府立大学 経営情報システム研究所長 経済学部教授 竹安 数博 氏

(3) 14:40-15:45 「各種予測手法と予測の実際」 中部大学 経営情報学部 専任講師 山下 裕丈 氏

(4) 15:45-16:00 休憩

(5) 16:00-17:00 「指数平滑、ARモデル等による予測事例」 日本学術振興会 特別研究員 樋口 友紀 氏

第3回研究会（2006年10月27日開催）「ビジネス戦略革新－分析手法のビジネスデータへの適用－」

日時：2006年10月27日(土) 14:00-17:30

場所：甲南大学2号館1階 213講義室

＜研究会スケジュール＞

13:15 開場

司会進行：甲南大学ビジネス・イノベーション研究所 客員特別研究員 大阪府立大学 経済学部 教授 石垣 智徳 氏

13:30-13:35 開会のご挨拶

甲南大学ビジネス・イノベーション研究所長 経営学部教授 中田 善啓 氏

13:35-14:20 「企業データの活用技術とその応用－事例研究を中心に－」

甲南大学ビジネス・イノベーション研究所 客員特別研究員 大阪府立大学 経済学部 教授 石垣 智徳 氏

14:25-15:10 「POS データを活用した事例研究」

大阪府立大学大学院 小澤 佳奈 氏

15:25-16:10 「POS データを活用したバイズ統計分析－多店舗データの有効利用－」

大阪府立大学 経済学部 助教授 中山 雄司 氏

16:15-17:00 「テキストデータを活用した統計分析－地域ブランド創りの事例紹介－」

大阪府立大学 経済学部 教授

株式会社ギャガ・デジタルブレイン取締役 荒木 長照 氏

第2回研究会（2006年2月24日開催）「ITによる経営プロセス革新－モバイル技術のビジネスへの応用－」

日時：2006年2月24日(金)

場所：甲南大学2号館1階 211講義室

モバイルは昨今、特にコンテンツが充実し、またブロードバンド化により更にビジネスへの応用の可能性が広まってきました。このモバイル技術がビジネスにいかに応用されるかについて議論しました。

- ・ 製造業：現場実績収集の他に設備保全への応用など
- ・ 小売流通業：マーケティングツールなどの他に販売予測の組み込みなど
- ・ サービス業：予約などの他に仲間ネットへの拡大など
- ・ 公共分野：各種情報提供、施設予約、各種相談受け付けなどの分野における応用の可能性を探りました。

＜研究会スケジュール＞

13:30-13:35 開会のご挨拶

13:35-14:20 「モバイル・マーケティング」

大阪府立大学 経済学部 教授

甲南大学ビジネス・イノベーション研究所 客員特別研究員 竹安 数博 氏

14:25-15:10 「モバイル・ニュービジネス（サーベイ）」

大阪府立大学大学院 経済学研究科 経済学専攻 樋口 友紀 氏

15:25-16:10 「モバイルを用いた食品トレーサビリティシステム」

阪急ホールディングス株式会社 グループコンプライアンス統括部長 石井 康夫 氏

16:15-17:00 「企業におけるインターネット活用成功例とその秘訣－スポーツ業界におけるBtoBの例」

ゼット株式会社 システム部 部長 瀬山 正 氏

（早稲田大学アジア IT 戦略研究所 客員研究員）

第1回研究会（2005年11月開催）「コミュニティ・ビジネスの現状と新たなる展開 - 現場からの報告 -」

21世紀における地域経済の中心的役割を果たす組織体の一つとしてコミュニティ・ビジネス主体への期待は大きい。それは、成熟化社会における新たなるビジネスチャンスの発掘などの我々をとりまく経済状況の変化、高齢化社会への突入や行政と民間のコラボレーションなどの社会的価値観の変化、さらには企業の社会的責任などに見られる社会的存在としての企業組織の在り方の変化などにより、従来の企業組織の枠組みでは対応できない社会状況が生まれてきたためです。そして、このような新しい社会枠組み変化への動きは一人零細・小規模企業組織だけの課題ではなく、大規模企業にとっても大きな課題となってきました。

この研究会はこれらの新たなる価値基準の下で、大きな役割を期待されているコミュニティ・ビジネスの現状と問題点を考え、これからの更なる発展の糸口を探ることを目的としました。

2005年11月19日（土） 14:00-17:30

甲南大学 第6会議室

1. 基調「進化するコミュニティ・ビジネス:社会的企業へ」

講演者 兵庫県立大学教授・同大学経済研究所所長 加藤 恵正 氏



2. パネル・ディスカッション「コミュニティ・ビジネスの諸課題と展望」

パネリスト

特定非営利活動法人マンション管理組合サポートセンター理事長 岩崎 裕司 氏

大阪府商工労働部商工労働総務課政策グループ統括主査 池田 純子 氏

兵庫県立大学教授・同大学経済研究所所長 加藤 恵正 氏

コーディネーター甲南大学経営学部教授 西村順二 氏